

Virtual Recovery 導入事例

小・中学校の事例



タブレットを導入しても
日々のメンテナンス作業が軽減

課題

- ① コンピュータ室のタブレット化を計画しているが、情報担当の先生の負担が増えるのが心配。
- ② 現状のノートPCでも設定変更やソフトウェアの追加などの作業に追われ、先生が本来しなければいけない業務に影響がでている。

Virtual Recoveryを
導入しました

システム構成

- ・ タブレット(Windows8.1 Pro) 492台(各校41台) ネットワーク：1Gbpsで学習系ネットワークに接続
- ・ ソフトウェア：ジャストジャンプ、ウィルス対策ソフト

方法

- ① 任意のタブレット1台を更新モードにし、変更作業を行います。(すべての更新作業を1台のPCで行います)
- ② 残りのタブレット39台をクレードルに接続し電源を入れます。
- ③ 全てのタブレットが自動アップデートするので、終了したら電源を切ります。

タブレットでの作業は一台のみ！



1台のタブレットを更新

自動アップデート



電源ON/OFFの作業で更新完了！！

導入の効果

- ① タブレットを導入しても、情報担当の先生の負担を減らす事ができました。
(1回の作業時間が30分程度に減少)
- ② 作業時間が短くなったことで授業の空き時間に更新作業が出来るようになりました。
(放課後は生徒の為に使う事ができるようになりました)

【先生からのコメント】

Virtual Recoveryを導入してからは作業時間が大幅に減りました。
おかげで生徒と直接話す時間が増え、コミュニケーションが深まりました。

詳細については、当社までお問い合わせください。

Virtual Recovery製品サイト

<http://www.ces-p.jp/vr/>



コンピュータエデュケーションシステム株式会社
Computer Education System Inc.

〒292-0827

千葉県木更津市港南台3-1-1

TEL : 0438-30-0031 FAX : 0438-30-0036

Web Site: <http://www.cs-grp.co.jp/ces/>

mail : m-nishimura@cs-grp.co.jp